

めざすべき目標像

- 全ての子どもたちが学力を身に付けながら健やかに成長し、自立した個人として自己を確立し、他者ととともに次代の社会を担うようになることをめざします。
- そのために、社会が多様化し激しく変化する中で、国際化の進展や未曾有の災害の発生等を踏まえ、子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力を備えるようにします。



改革の方向性

- いわゆる上意下達の教育行政でなく、校長が予算・人事面で一定の権限をもち、実際に学校をマネジメントできるようにします。
- 市民に学校の情報を提供し、保護者や地域住民等が学校運営に積極的に協力・参画できる環境を整備します。

1) カリキュラム改革

- いかにか社会が変化しようと必要とされる学力、道徳心・社会性、健康・体力をはぐくみます。
 - ・ 幼児期から義務教育修了までに、基本的な道徳心・規範意識を培います
 - ・ 新たな幼児教育カリキュラムを編成・実施します
 - ・ ICTを活用して協働学習や個別学習などの充実をめざす「大阪市スタンダードモデル」を策定します (ICT: Information and Communication(s) Technologyの略。情報通信技術のこと。)
 - ・ カリキュラムのイノベーションにつながる研究を進めます
 - ・ 通知表改革: 学びの評価を客観的なものにします
 - ・ 健全な食生活の確立に向けて食育を進めます

2) グローバル化改革

- 国際共通語である英語を使えることをめざす教育の充実や、世界最先端のICT学習環境の活用により、グローバル人材としての基礎を育てます。
 - ・ 「英語イノベーション」: 小学校1年生から大阪独自の英語教育に取り組みます
 - ・ ICTを活用して協働学習や個別学習などの充実をめざす「大阪市スタンダードモデル」を策定します

